

PTA 会員 各位

星峯西小学校 PTA
 家庭教育充実研修委員
 委員長 村田 玲佳

令和3年度家庭教育充実研修に係るアンケート調査結果について(報告)

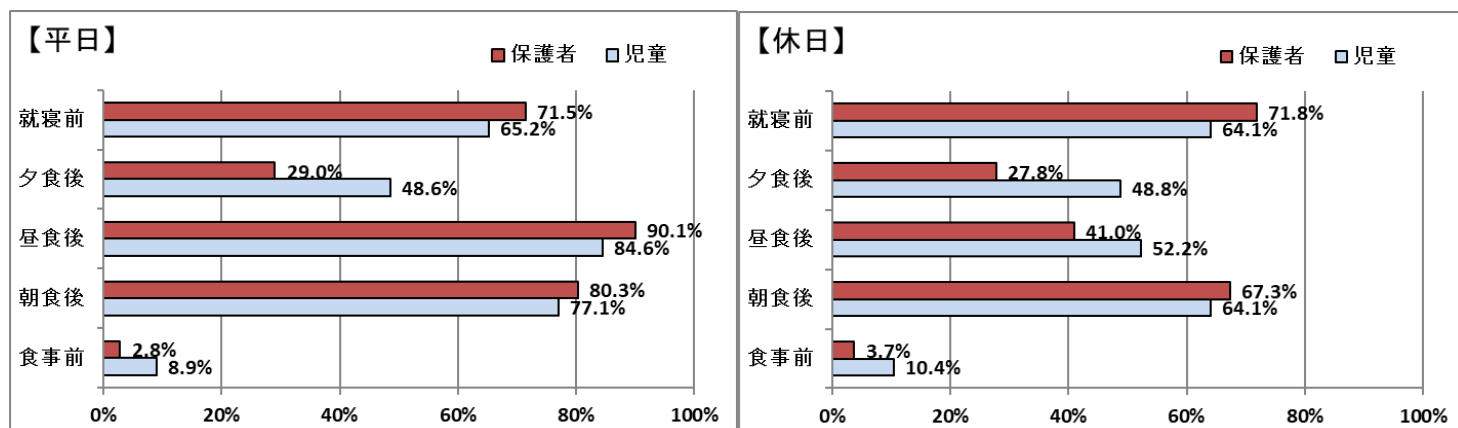
師走の候、皆さま方におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、7月に実施致しました「歯と口の健康に関するアンケート」に際しましては、PTA 会員様の多大なご協力を頂き誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

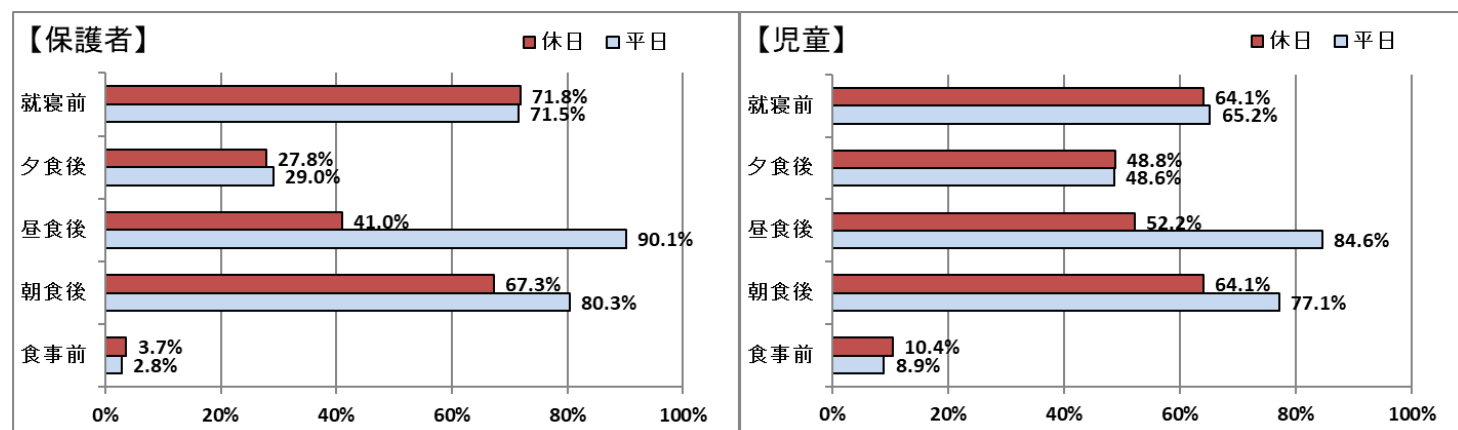
遅くなりましたが、当委員会にてアンケートの集計を行いましたので、以下のとおりご報告いたします。

【平日・休日の歯磨き状況】

*保護者回答と児童回答の比較

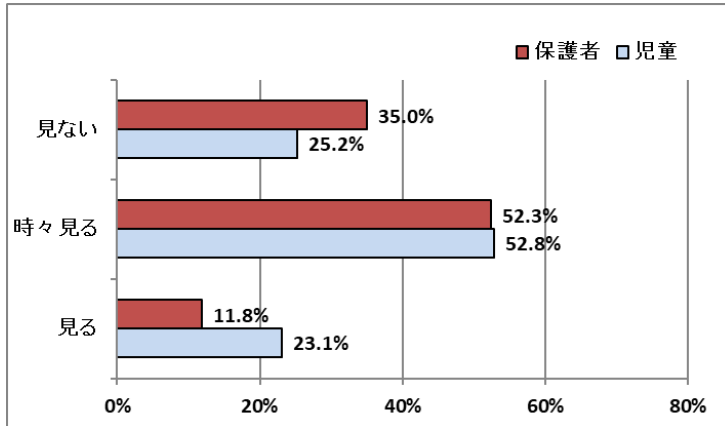


*平日と休日の比較



昼食後の歯磨きに関して、平日に比べ休日の実施率が極端に悪いのは、平日は学校での歯磨き指導が徹底されているからということ、休日は外出等により歯磨きができない状況が多いことが考えられます。外出先などで歯磨きができない場合は、軽くうがいをするなどの歯磨きに代わる方法を考えてみるのも良いと思います。

【歯磨きの際に鏡を見ていますか？】

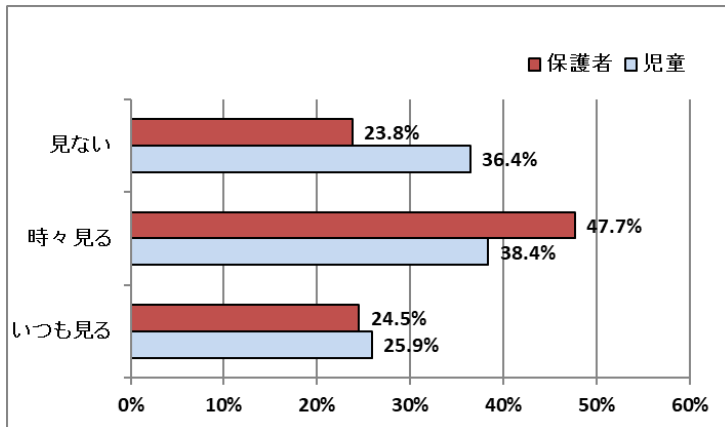


何かをしながら歯磨きをしていませんか？

鏡を見ながら歯を磨くことで磨き残しを減らすことができるそうです。磨く歯の順番を決めて、鏡を見ながら磨き残しのないように意識してみましょう。

鏡を見ながら歯磨きをすることの重要性についても、ご家庭でお話をしてみてください。

【歯磨きの後に(子供の)口の中を見ますか？】

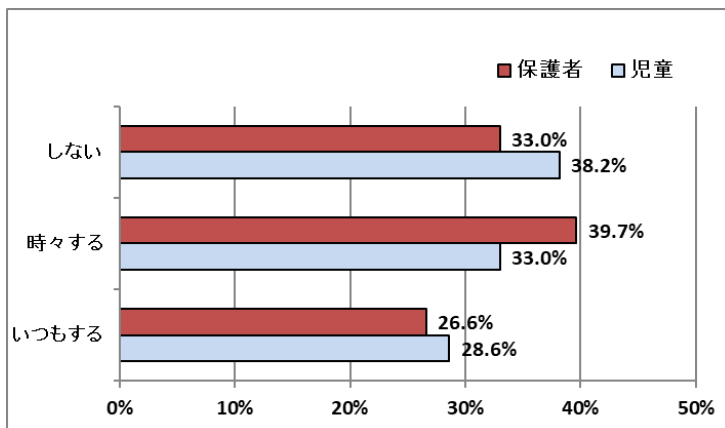


学年別に保護者回答の「見ない」の割合を比べてみると、低学年 6%、中学年 18%、高学年 44%と、学年が上がるにつれて実施率の低下がみられました。

ある程度自主性に任せることも必要ですが、最終的な歯の健康管理には大人のサポートがまだまだ必要です。

全く見ないのではなく、月に数回だけでもチェックしてみたいかがでしょうか。

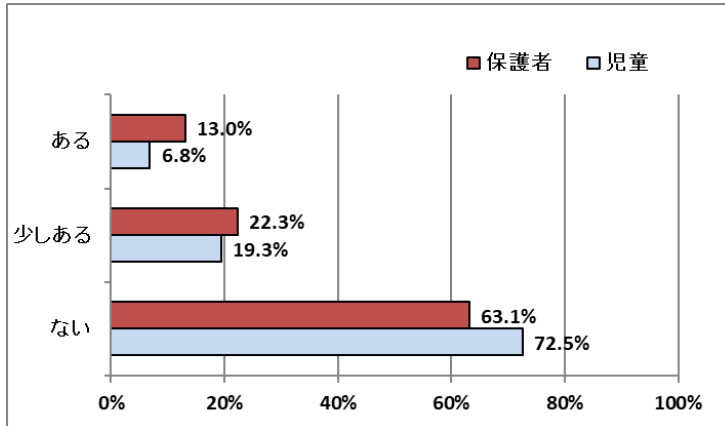
【仕上げ磨きをしますか？】



前項と同様に学年別に保護者回答の「しない」の割合を比べてみたところ、低学年 10%、中学年 26%、高学年 59%でした。

成長につれて仕上げ磨きを嫌がるかもしれませんが、6歳～12歳の口の中は、乳歯から永久歯へと次々生えかわりどんどん変化し、歯ブラシが届きにくい所が沢山あります。健康な歯を保つためには、時々でも仕上げ磨きをすることが大切ではないでしょうか。

【気になることや心配事がありますか？】



「ある」「少しある」の回答の内容は、多い順に、

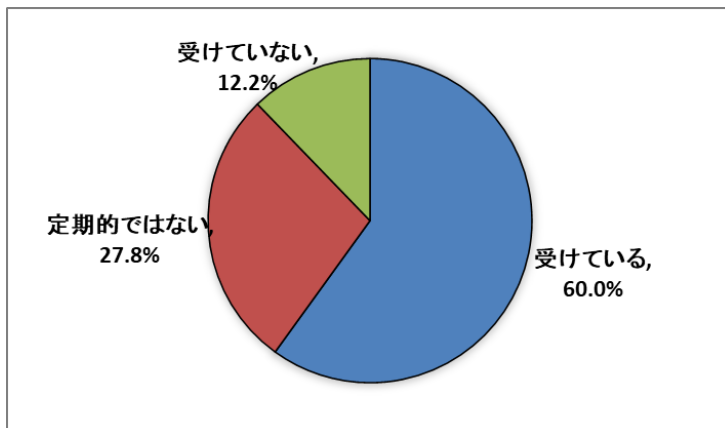
1. 歯並び・矯正に関すること
2. 歯磨き・虫歯に関すること
3. 歯の生え変わりに関して

でした。

保護者・児童とも上記順は同じで、心配事は共通しているという結果になりました。

この機会に親子で心配事を共有し、歯や口の健康について話してみることも大切だと思います。

【お子様は定期的に歯科健診を受けていますか】（保護者のみ回答）



過半数以上が定期的に歯科健診を受けており、「定期的ではないが受けている」を含めると、全体の約 90%近くが歯科健診を受けているという結果になりました。

この結果から、歯の健康に対する意識は全体的に高いことが分かりました。

歯と口の健康を守り、虫歯などの異常を早期発見するためにも、歯科健診はとても重要です。今後も、引き続き歯科健診を受けることはとても大切であり、それによって子供自身も、歯と口の健康に対する意識が高まるのではないかと思います。